

総務経済委員会 所管事務調査 報告書

調査日時

令和8年5月21日（木）
午前10時～

調査場所

標茶町役場議員室

1. 調査事項

基幹産業における担い手
対策の現状と課題について

2. 調査の経過と内容

・担い手対策の現状について

本町では新規就農対策として金銭面での支援だけではなく、標茶町農業研修センター・しべちゃ農業校を平成27年4月に開設し、研修生の受け入れを行ってきた。研修生の受け入れは、JAしべちゃ、普及センター、NOSAー、標茶町で構成する「標茶町担い手育成協議会」が窓口となつて

て取り組んできた。これまでの新規就農の実績は、平成29年からの実績でいうと酪農が12戸、肉牛が1戸となっており、さらに現在1組の夫婦が研修生として在籍している。

・今後の課題について

農業情勢の悪化により、新規就農を希望する研修生の確保に苦慮しているのが実態である。円安基調の長期化や物価高騰の影響により、新規就農の際の初期投資が大きくなっていることは大きな課題である。担い手育成協議会では、そのような情勢のもと、居抜き型での就農など、初期投資を極力抑制し、就農させる手法を研究している。また、多様な営農形態での就農、畑作での研修先の確保なども考えている。今後は、町財政状況を考慮しつつ、本町新規就農対策を推進し、計画的に研修生を受け入れ、研修生不在の状況は避けたいと考えている。

3. 委員会の所見

・新規就農については、酪農に限らず地球温暖化など気候の変動もあり、先の見通しも考えて野菜や小麦等の畑作も考えるべきである。

・新規就農支援は、新規のみではなく後継者も含めるべきである。

・酪農経営は国の施策に沿って行ってきたが、結果として農業、農村の荒廃が進んでいる。農業が衰退すると標茶町に大きな影響が出る。その意味でまちづくりは農業づくりである。

・本町の基幹産業は酪農である事を改めて認識し、今後は担い手対策を政策の中心に据えるべきである。



搾乳風景

厚生文教委員会 所管事務調査 報告書

調査日時

令和8年7月21日（火）
午後1時30分～

調査場所

やすらぎ園、標茶町役場議員室

1. 調査事項

やすらぎ園の現状と課題
について

2. 主な調査項目

- ①令和元年からの入園利用者数の推移
- ②従業員の数と配置状況
- ③冷暖房設備の設置状況
- ④入浴施設の状況と問題点
- ⑤避難訓練と管理マニュアルの策定状況
- ⑥職員研修の状況
- ⑦園内の行事等について
- ⑧入居者の要介護度別の人数内訳
- ⑨現状での運営課題について

て

⑩今後の運営方針について

3. 委員会での主な質問

問 駒ヶ丘荘とやすらぎ園は温泉の湯元は同じであるのにやすらぎ園の温泉の温度は低く、湯量も少ないのは何故か。

答 源泉からやすらぎ園までの距離が遠いので温度も下がる。湯温は25～40度と幅があり、湯量も低下するので真湯で調整し、入浴してもらっている。送湯管が長年使っているので傷んでいる可能性がある。

問 職員研修において、法定研修はオンラインでの受講と説明があったが、法律上の問題は無いのか。

答 昨年に北海道の監査の時に説明し、了承された。

問 建物は昭和47年の建設であるので54年が過ぎている、建替の時期が来ると思いますが、今後の定数についてどう考えているか。

答 定数は50人位が適正であると考えている。

問 現在の待機者は何人か。

答 要介護3以上では54人で、すぐに入所を希望する人は17人である。

問 入所の制限はあるか。

答 特養では身体拘束を必要とする人の受け入れは法律上禁止されている。やすらぎ園では医療行為を行う資格者が24時間常駐していないので、提供できる医療行為は限られている。

問 デイサービスの利用人数は何人か。

答 1日に20〜25人前後である。

4. 委員会の所見

・令和元年度の入所者は78人だったが、令和7年度は50人に減少している。短期入所者数は令和元年度は316人だったが、令和7年度においては170人に減少している。主な原因は恒常的な介護スタッフの不足と考える。早急に人員の確保に努めるべきである。

・北棟は昭和49年に開設して築52年となり、各部屋の

仕切壁が傷んでいる。修繕はしているものの隙間風が入り、冬は特に寒い。ボイラーについて2機は有るものの97年製造の機械は能力の低下が著しく、入替えの時期が近いと思うので今から備えておくべきである。

・本町におけるやすらぎ園の役割は入居者の受け入れをする事により、介護者の世話をする家族の負担を軽減する等、本町の社会福祉の根幹をなす重要な施設なので、存続させるべきである。

・今後の人口の推移を見ると団塊の世代が85歳以上となるのは6〜8年後であり、介護ニーズのピークが来る。運営については、介護スタッフの確保や諸物価高騰、施設の老朽化など問題は山積しており、今後も厳しい状態が続くと想定される。公営から民間への移行も検討すべきである。

・園のあり方については、令和8年5月の標茶町財政健全化調査特別委員会でも議論が始まったばかりだ

が、施設の老朽化が進んでいるので時間がない。建替えを含め、早急に結論を出すべきである。



標茶町議会議員 定数等調査特別 委員会報告

1. 調査事件

標茶町議会議員定数等に関する調査

2. 委員会構成及び調査経過

議長を除く11名の委員により、計6回の委員会を開催した

3. 調査結果

現在標茶町は、極度の財政難に陥っている。財政再建を喫緊の課題としながら、日々の住民生活に関する安心の確保、基幹産業の下支え、さらには子育て支援のように未来に希望をつなぐさまざまな施策をどう継続するかに腐心している。そんな中、人口減少が顕著であることから人口規模に見合う議員数の検討と議員のなり手不足解消を念頭に置き、議員報酬の見直しについて議長からの諮問を受け、特別委員会を設置して調査してきた。

議会の大きな役割は、住民の代表として条例の制定・改廃、予算・決算の審査などの意思決定をすることと、決定した予算や事業が計画どおり無駄なく進められているかの監視である。さらに、選挙で選ばれ

た住民の代表としてその声を代弁し、より良い行政サービスや施策を行政に提案する役割も担っている。

議員定数について、人口減少を理由に機械的に削減することは、広大な行政面積を有する標茶町の地勢もあり、確実に民意の反映機会が減ることにつながる。現在の議員定数が標準的であること、市街地域を活動拠点とする議員が多い現状や高齢化率が上昇し、電子機器による双方向の情報伝達が難しい状況も踏まえ、議員定数は現状の12名を維持するのが妥当である。

また、議員報酬については、釧路管内最低額で、20年以上据え置かれている現実がある。しかしながら、町の財政状況を鑑み、増額する局面ではなく現状維持が妥当である。

菊地 誠道 議長

北海道町村議会議長会より表彰を受ける

長年にわたる地方議会活動と

地域振興への貢献を評価

今回の表彰は、在職25年にわたり地方議会議員として町政の発展と住民福祉の向上に尽力し、地方自治の振興に貢献した功績が評価されたものです。

更には、町政の課題に取り組むとともに議会運営にも尽力し、議長として2期にわたり、町民の声を町政に反映させる議会運営に努めています。

菊地議長は「これまで議会活動を続けてこられたのは町民の皆様をはじめ、多くの方々のご理解とご支援があつてのこと。今回の表彰を励みに、これからも標茶町の発展と住民福祉の向上のため、誠実に職責を果たしていきたい」と述べました。



議長在職7年以上及び議員在職25年以上の自治功労者表彰授与

今後も、町民に開かれ信頼される議会づくりと、持続可能なまちづくりに向けた活動が期待されます。

◆ ◆ ◆ ◆ 令和8年 第3回定例会賛否一覧 ◆ ◆ ◆ ◆

※これ以外の議案等は全員一致です。

議員名	櫻井 一隆	本多 耕平	鈴木 裕美	鴻池 智子	黒沼 俊幸	長尾 式宮	松下 哲也	渡邊 定之	深見 迪	菊地 誠道	結果
議案等の内容											
意見書第10号 核兵器禁止条約への参加・署名・批准を行うことを求める意見書	○	○	○	×	○	×	×	○	○		原案可決

○ 賛成 × 反対 退 退席 欠 欠席 (議長は、可否同数以外の採決には加わりません。)

意見書

次の3件の意見書案が提出され、いずれも賛成多数で可決されました。意見書は議長名で国、道の関係機関へ送られました。

《意見書案第9号》

国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書

《意見書案第10号》

核兵器禁止条約への参加・署名・批准を行うことを求める意見書

《意見書案第11号》

アメリカ産の生食用ジャガイモの輸入解禁に反対する意見書

第三回定例会 議会日誌から

七月二十一日	厚生文教委員会所管事務調査
七月二十二日	全員協議会
七月二十二日	標茶町議会議員定数等調査特別委員会
八月五日	釧路町村議会議長会8月定例会
八月六日	標茶町議会議員定数等調査特別委員会
八月十日	釧路公立大学事務組合議会第2回臨時会
八月十二日	標茶町議会議員定数等調査特別委員会
八月十八日	川上郡衛生処理組合議会第2回定例会
八月二十日	議会運営委員会
八月二十日	第3回臨時会
八月二十日	全員協議会
八月二十日	総務経済委員会
八月三十一日	釧路北部消防事務組合議会第2回定例会
九月四日	議会運営委員会
九月八日	第3回定例会
九月八日	標茶町議会議員定数等調査特別委員会
九月八日	厚生文教委員会
九月八日	総務経済委員会
九月八日	議会運営委員会
九月九日	広報委員会
九月二十四日	広報委員会
十月七日	厚生文教委員会所管事務調査
十月九日	広報委員会
十月十四日	第4回臨時会
十月十四日	各会計決算審査特別委員会
十月十五日	



今年で最後になる消防団員技能競技大会

編集後記

議会は財政状況悪化を受け止め、令和7年3月に標茶町財政健全化調査特別委員会を設置しました。委員会は令和8年5月までに計13回開催され、真剣な議論がなされました。

理事者側も各地域で説明会を開催してきました。今日ほど本町の財政について議論されたことはありません。私達議員と町民の皆様と対話を重ね、良い標茶の未来が拓ける様努力してまいります。

(文責 黒沼 俊幸)

